

小規模企業景気動向調査

[平成29年9月期調査]

～7ヶ月連続の改善基調から、わずかな悪化に転じた小規模企業景況～

2017年10月31日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…7ヶ月連続の改善基調から、わずかな悪化に転じた小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、採算DI、資金繰りDIはわずかに悪化し、売上額DIは不変であった。製造業では全項目で改善が見られた一方、小売業では全項目が悪化した。また、業況DIをみると、建設業と小売業がわずかな悪化、サービス業は小幅悪化と、製造業以外が軒並み悪化した。経営指導員からは、製造業は好調である一方で、小売業・サービス業の悪化を指摘する報告があった。

<製造業> ◇…自動車部品製造業で堅調な動きを見せるも、織維や食品関連は利益確保が難しい製造業…◇

製造業の業況DIと採算DIは先月と比べ小幅に改善し、売上額DIと資金繰りDIはわずかに改善した。先月に引き続き、自動車部品製造業は堅調。材料費高騰も価格転嫁できているとの報告がある一方で、紡績業、織物業では原料価格高騰の煽りを受け経営の圧迫を受けていることや、食品関連では仕入価格の高騰により利益確保が厳しいとの報告があった。

<建設業> ◇…発注量は増えてきているが、人材確保難と人件費高騰により利益確保が難しい建設業…◇

建設業の売上額DIはわずかに改善したが、採算DIは先月とほぼ不変。業況DIはわずかに悪化し、資金繰りDIは先月と一変、小幅な悪化となった。公共工事、民間工事を問わず発注量は堅調であり、総合工事業よりも職別工事業、設備工事業が好調との報告があった。一方、発注量が増えてきても、人材確保が難しいことや、受注しても請負単価と人件費のバランスがとれず利益の確保が難しくなっているとの報告があった。

<小売業> ◇…季節需要により若干動きのあるものの、衣料品・食品小売店の経営状況は厳しい小売業…◇

小売業は全項目とも悪化。悪化幅は売上額DI、資金繰りDI、業況DIはわずかであったが、採算DIは小幅な悪化を示した。運動会や敬老の日などの季節需要により小売業で若干動きがみられるものの、天候不順により葉物野菜をはじめとして生鮮食料品の価格が高騰し、消費者に買い控えの傾向もみられているとの報告があった。また衣料品が不調であるとのコメントが引き続き多くあるなど、経営状況は依然大変厳しいとの報告があった。

<サービス業> ◇…旅館関連業が好調との地域がある一方で、洗濯業や運送業では採算が悪化するサービス業…◇

サービス業の業況DIと採算DIは小幅に悪化、売上額DIがわずかに悪化し、資金繰りDIは先月に引き続き不変であった。経営指導員からは、地方によって紅葉のシーズンとなり、旅館関連のサービス業では好調との報告がある一方で、洗濯業では原油価格の変動の煽りを受け、有機溶剤の価格が上昇して採算が悪化しているとのコメントが寄せられた。また、運送業では、長距離便の人手不足が深刻化し多忙であるが、取引業者や他社との競合により、運賃の値上げもできないとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲12.8	▲12.4	0.4	▲7.9	▲6.2	1.7	▲5.0	▲3.3	1.7
採算	▲13.7	▲14.2	▲0.5	▲13.6	▲10.4	3.2	▲10.3	▲10.2	0.1
資金繰り	▲9.4	▲10.4	▲1.0	▲9.6	▲8.9	0.7	▲4.7	▲8.5	▲3.8
業況	▲13.9	▲14.4	▲0.5	▲11.6	▲9.6	2.0	▲6.1	▲6.7	▲0.6

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲24.0	▲25.4	▲1.4	▲14.0	▲14.6	▲0.6
採算	▲20.4	▲23.1	▲2.7	▲10.5	▲13.2	▲2.7
資金繰り	▲15.6	▲16.6	▲1.0	▲7.6	▲7.4	0.2
業況	▲24.2	▲25.3	▲1.1	▲13.4	▲16.0	▲2.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。